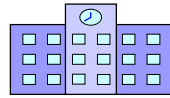




きざき



さいたま市立木崎小学校

— 児童が目を輝かせて、
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



「あいさつ勝負」で求める よいあいさつの姿

校長 豊島 登

明日から10連休、特別なゴールデンウィークとなります。疲れた体を休ませたり、レジャーを楽しんだりするよい機会ですが、5月1日には、新天皇の即位の礼が行われ、「令和」と改元されます。このことを全国民がこぞってお祝いするための休日であることを忘れないようにしたいものです。

さて、毎年行っている学校評価の中に、「明るいあいさつのできる子どもを育てる指導を継続的に行っている」という項目があります。今年は、次のようにバージョンアップした取組をとおして、保護者の方の肯定的な回答を増やしたいと考えています。

① 気持ちを伝えることを意識させた「あいさつ勝負」

子どもと私との毎朝の「あいさつ勝負」は今年も続けます。初めての対戦となる1年生には、各教室に右のような“挑戦状”を送りました。あいさつ運動のキャッチフレーズになっている「あ・い・さ・つ」についても、担任から伝えてもらいました。

「ねんせいへ
よいあいさつで、
わたしをまかして
みなさい。いざ、
しょうが！
こうちょう
せんせいより

2年生以上の学年には、「あいさつに込める気持ちを伝えられたか」が勝負のポイントであることを指導します。例えば、「おはようございます」というあいさつには、「私はきょうも元気です」とか「きょうも1日よろしく」といった気持ちが込められているはず。それが相手に伝わるように、あいさつをする相手と視線を合わせ、相手に聞こえる声ではっきりと言えるかを、真剣に、そして楽しくバトルしたいと思います。

② 「大人のあいさつ運動」のさらなる推進

昨年11月から始めた「大人のあいさつ運動」につきましては、缶バッジ着用のご協力をいただきありがとうございます。私も毎日身に付けていますが、それだけで意識が高まることを実感しています。今年度は、学期始めの4月、9月、1月を強化月間として設定させていただきました。子どもに手本を見せるべき大人として、できない子どもを注意する前に、子どもたちを認め、励まし、生活への意欲を高めるような素敵なあいさつで包んでいただきたいと思います。

保護者、地域の皆様の一層のご理解ご協力をお願いいたします。

大人が率先して手本を見せる
あいさつ運動実施中

あかるい声で

いつでもどこでも

人よりさきに

毎日つづける

